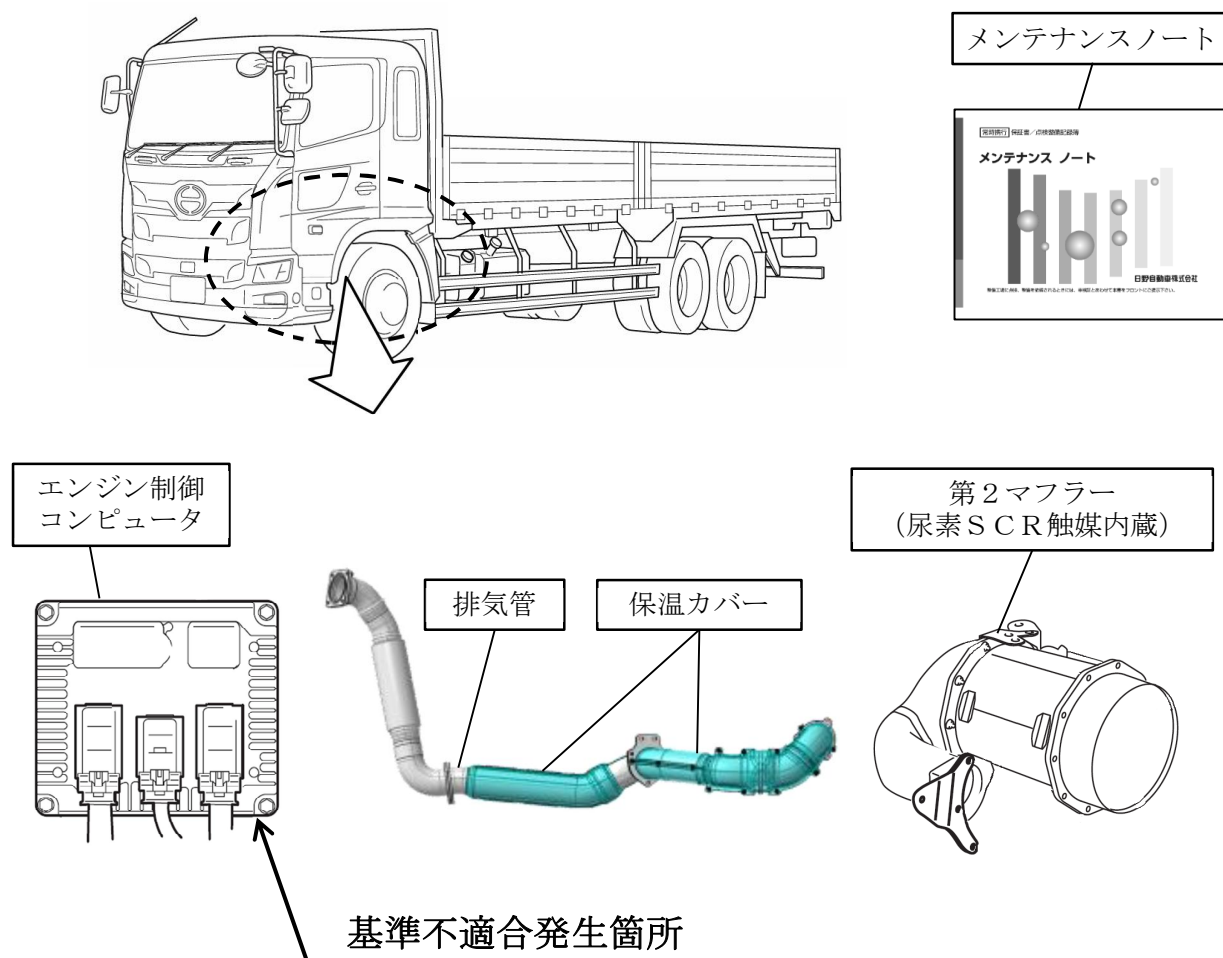


改善箇所説明図



注： ☐ は措置する部品を示す。

E13Cエンジン制御コンピュータにおいて、

- ① DPR再生用制御プログラムが不適切なため、高回転高負荷条件でのDPR再生中に尿素SCR触媒温度が想定より高温となり、触媒劣化の進行が早くなることがある。そのため、そのまま使用を続けると排出ガス中の窒素酸化物の排出値が規制値を超えるおそれがある。
- ② SCR触媒劣化判定プログラムが不適切なため、正常な触媒を異常と誤判定し、警告灯が点灯するおそれがある。

改善の内容：

- ①②全車両、エンジン制御コンピュータのプログラムを対策仕様書き換える。
- ① 全車両、排気管に保温カバーを取り付け、暫定措置でメンテナンスノートの点検整備項目に追加した触媒の浄化率点検を削除する。また、弊社が定めた基準に沿って触媒の点検を行い、基準を超える場合は触媒を新品に交換する。

識別：改善実施済車は弊社のインターネットホームページのリコール等情報対象車両検索にて“実施済”と表示する。